

1	<p>(質問)</p> <p>機関リポジトリのコンテンツであれば IRDB 経由でジャパンサーチにメタデータを送るというのはわかるのですが、旧来の OAI-PMH を備えていないデジタルアーカイブの場合は IRDB であれ NDL サーチであれ、CSV や Excel 等でマッピングしたメタデータをやり取りすることになり、IRDB 経由にしなくてもよいように思います。また発見可能性という面でも研究者でなければ IRDB で検索するよりも NDL サーチで検索する人のほうが多いように思います。なぜ NDL サーチへ直接ではなく IRDB 経由がよいと考えたのでしょうか？</p> <p>(回答)</p> <p>「メタデータ流通ガイドライン」の「別紙 3：メタデータ流通経路」(<a href="https://iss.ndl.go.jp/information/guideline_attached/#3">https://iss.ndl.go.jp/information/guideline_attached/#3</a>)に、「メタデータ流通経路図(学術機関のデジタルアーカイブ)」という図が掲載されておりますが、ここで「ルート②」や「ルート③」としてお示ししているように、OAI-PMH に対応しないデジタルアーカイブのメタデータについては、個別の事情に応じて、IRDB に集約しないルートも担保されるべきと考えております。一方で、ルート①B をメインルートとしたのは、NII が学術機関におけるデジタルアーカイブのコンテンツに関する「つなぎ役」としての任を担うことにより、IRDB で DOI の付与を行うことができるなどの利点を有していることによります。今後、具体的な事例が出てきた際には、これから委員会、NDL、NII との間で、より適切なルートを検討していければと考えております。</p>
---	--

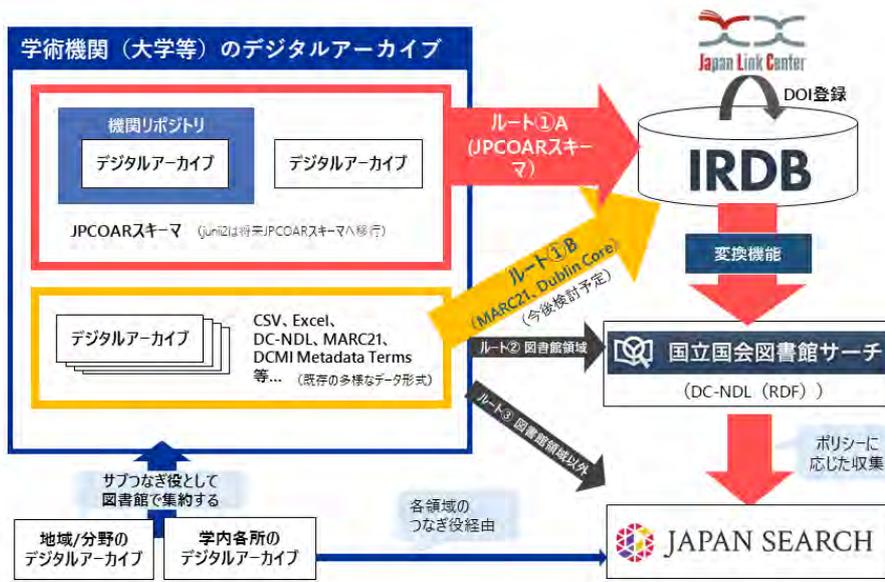


図 メタデータ流通経路図 (学術機関のデジタルアーカイブ)

2	<p>(質問)</p> <p>メタデータガイドラインの項目毎の推奨度という考え方と、JPCOAR スキーマの必須項目の考え方には何か違いがあるのでしょうか？同じ考えたかの言い方違いでしょうか？</p>
	<p>(回答)</p> <p>メタデータ流通ガイドラインの推奨度と JPCOAR スキーマの必須項目(記入レベル)は、どちらも各メタデータ項目がデータ(値)に求めるレベルを示しており、その意味では同じですが、求めるレベルは、それぞれの想定や目的に応じて設定しており、違いがあります。</p> <p>メタデータ流通ガイドラインの推奨度は、メタデータの流通と、その先のメタデータやコンテンツの利活用等の場面を想定し、そのために必要になる情報は何かという検討に基づいて設定しています。</p> <p>様々なシステムやメタデータスキーマに適用できるように、レベルに「必須」を設定しておらず、最も強いレベルを「強く推奨」と設定しています。</p> <p><a href="https://iss.ndl.go.jp/information/guideline_2/#0">https://iss.ndl.go.jp/information/guideline_2/#0</a></p> <p>一方で、JPCOAR スキーマの記入レベルは、主に機関リポジトリにおける学術成果物の、円滑なメタデータ流通を目指す立場から設定したものです。</p> <p>例えば、「サムネイル」を収める項目に関しては、JPCOAR スキーマでは、他の多くのメタデータ項目と同様に「該当する場合は必須」と設定しています。</p> <p><a href="https://schema.irdb.nii.ac.jp/ja/schema/1.0.2/35-1">https://schema.irdb.nii.ac.jp/ja/schema/1.0.2/35-1</a></p> <p>メタデータ流通ガイドラインでは、コンテンツの利活用に必要な情報という観点から最も強い推奨度である「強く推奨」と設定しています。</p> <p><a href="https://iss.ndl.go.jp/information/guideline_2/#11">https://iss.ndl.go.jp/information/guideline_2/#11</a></p> <p>メタデータ流通ガイドラインは、メタデータがより効率的に、また効果的に流通する一助となることを目指しています。</p> <p>用いるメタデータスキーマによらず、メタデータが示すコンテンツの種類に応じて参照いただければ幸いです。</p> <p>メタデータ流通に際して、JPCOAR スキーマなど特定のメタデータスキーマを用いる場合には、あわせて、そのメタデータスキーマで求められているレベルを、説明にそってご利用いただければと思います。</p>